

おうちで本を開いていますか

わたしの家族



あなたのおうちは何人家族ですか？ 家族は一番身近なつながりを持つ集まりです。そして、とても強い絆で結ばれています。

家族について書かれた本、絵本がたくさん出版されています。あなたの知らない家庭の様子を「へえ、そうなんだ」「あっ、我が家にそっくり！」と、家族みんなで楽しみましょう。

題名/おこりんぼママ
作/ユッタ・パウアー
訳/小森香折
出版/小学館

今日ママにものすごくどなられて、ペンギンのほくはバラバラバラになってしまった。そんなほくを助けてくれたのは…



題名/ねえとうさん
作/佐野洋子
出版/小学館

久しぶりに帰ってきた父さんとくまの子は、手をつなぎ森へ散歩に出かけます。甘えるくまの子に、やさしく力強い父さんの姿はすてきです。



題名/ごきげんすてご
作/いとうひろし
出版/徳間書店

3か月前、弟がやってきた。お母さんは弟ばかりかわいがって、私なんてほったらかし。



えーい、かわいいすてごになって、すてきなおうちにもらわりたい。

家族

題名/ほくのかわいくないいもうと
作/浜田桂子
出版/ポプラ社

ほくの妹はでしゃばりでおしゃべり。とんでもない妹のせいで、いつもほくは大変なんだ。でもね…



題名/おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん
作/長谷川義史
出版/BL出版

「ねえ、おじいちゃんのおじいちゃんってどんな人？」男の子の質問に、時はとんとんさかのぼっていきます。



題名/おばあちゃんのすてきなおくりもの
作/カーラ・ステープン
訳/掛川恭子
絵/イブ・ライス
出版/のら出版

ハタネズミのおばあちゃんはやさしくて、ほくたちにいろんなお話をしてくれる。「どうしてかな？ 相手の気持ちを考えてごらん」



橋本市家庭教育支援チームでは、「家庭読書班」を編成しており、「家読」に関する講座を展開しています。



紀見保育園のスクラップブッキング講座でみつけたイクメンパパです！

イクメンパパ、見つけた！



パパ・岡井 努さん
武琉くん(2才)



日頃からお風呂や寝かしつけ、おもちゃ遊びなど育児に携わっている岡井さん。

「育児に携わって良かったと思うときは？」という質問に、息子の武琉君が「パパ、好き」「ママ、イヤン〜」なんて言った時は、「ヨッシャー！」って思うそうです。

反対に言葉の意味が理解できない時や、自分の伝えたいことが伝わらない時に、育児の難しさを感じてしまうとのことでした。

♡ママからひとこと

たまには仲間に入れてください(笑)



※げんきっこでは、「イクメンパパ」を紹介しています。自薦他薦を問いません。どしどしご応募ください。
教育委員会 家庭教育支援室「げんきっこ・イクメンパパ、見つけた！」係 (TEL 33-1111 内線 1381)

パパ・露久志 光さん
有華ちゃん(1才)



読書が趣味という露久志さんは、読み聞かせはもちろん、積極的に育児に携わっています。

育児に携わって良かったと思うのは、子どもの成長を感じることができることとおっしゃいます。

最近有華ちゃんに自我が芽生えてきて、ご飯などを素直に食べてくれなくなってきたそうです。成長にともなって、しつけや教育面が難しいなあと思っているとのことでした。うれしい悩みですね。

♡ママからひとこと

仕事で帰りが遅くなる日が多い中、子どもが絵本を持ってくるとどんな時でも読んであげてくれています。子どもとのコミュニケーションがしっかり取れていると思います。

子育て

はっぴい あとばいす

支援チーム員「ちょっとちゃん」



朝、ピカピカの一年生も先輩たちも登校です。「いってらっしゃい」と声をかけ、頭をなでたり、手をふったりして送り出してください。

やがて子どもたちは(〇)の気持ちや(-_-)の気持ちをもって帰ってきます。その理由を聞いて、「あんたが悪い」と(^^)になる時もあります。「なんでそうなるの」とため息が出る時もあるでしょう。原因が本人にある時も、**まずは気持ちを受けとめ**、そして「次からどうしようか」を中心に、一緒に考えてみてはどうでしょう。**いやな気持ちも、支えてくれる大人がいることで**安心し、元気になれるはずですよ。

(〇)の気持ちには、たとえささいなことであっても、**うれしい(〇)**と同じ気持ちになりましょう。同じように喜んでくれる大人がいることは、大きな励みになります。

忙しい時に子どもの話を聞くのは大変です。でも、そんな時にこそ子どもの話を聞くことで、**持って帰ってきた気持ちを、ランドセルといっしょにおろしてあげることができると**思いますよ。

気持ちがすっきりして、宿題がはかどるかも★



たまには大人も息抜きしてね♡